

第38回 JICTF 全国社会人テニス選手権大会

大会実施要項

1. 主 催： 一般社団法人日本社会人テニス連盟
2. 主 管： JICTF 全国社会人テニス選手権大会実行委員会
3. 後 援： 株式会社 神戸新聞社
4. 協 賛： ニホンターフメンテナンズ 株式会社
ヨネックス株式会社
5. 開 催 日： 2026年11月14日（土）・15日（日）
6. 会 場： アオノテニスクラブ
兵庫県加西市油谷町639番地の3 Tel. 0790-45-1845
7. 大会形式： （チーム対抗戦）トーナメント方式。 順位決定戦を行う。
8. 競技種目： 全国六地域代表14企業チーム（男子）による“チーム対抗トーナメント”
チーム対チームの対戦は、各対戦共、ダブルス3試合+シングルス2試合、計5試合。
9. 大会使用球： ヨネックス製「ツアープラチナム」
10. 出場チーム： （辞退発生時は補欠枠から出場チームを決定することがある）

関 東	〃	3	チーム
北信越	〃	1	〃
東 海	〃	2	〃
関 西	〃	3	〃
北九州	〃	2	〃
南九州	〃	2	〃
前年度優勝地域（関西）		1	〃
計： 14 チーム			

11. チームの出場資格：

連盟に団体加盟（年間登録費¥40,000/団体）している企業チーム（官公庁を含む）であって、2026年度JICTF全国社会人各地域（関東・北信越・東海・関西・北九州・南九州）ゴールドリーグ戦優勝或いは準優勝（地域によっては第3位、第4位）の成績を挙げたチーム及び前年度優勝チーム所属（＝東海）地域の次点チーム。

出場チームは、6名以上13名以内の同一企業に属する社員によって編成されていること。但し、その企業の関係会社の社員2名以内を含めることが出来る。この場合、その関係会社の社員によって編成された企業チームが当該地域ゴールドリーグ戦に1チームとして参加していないことを条件とする。

出場チームは、エントリーフィー¥120,000を連盟本部に納金する。
12. 選手の出場資格：

2026年度該当地域ゴールドリーグ戦に選手登録がなされている者。2026年度該当地域ゴールドリーグ戦後の新規登録選手或いは入れ替え登録選手は、認めない。
13. 選手登録：

出場チームは、6名以上13名以内の選手を「出場選手登録簿」に記載し、これを連盟本部事務局に提出すること。同一企業に属さない選手の登録は、前記第11項記載の通り。
14. 試合方法：

各試合8ゲームマッチ（8オール7ポイントタイブレイク）。各対戦ともダブルス1・2・3、シングルス1・2の順に試合を行う。（進行状況／コート使用の都合により、順序を変更することがある。）

3試合を勝った方をそのチーム対戦の勝ちチームとする。

14. 試合方法（続き）

1 対戦 5 試合全て実施する（原則）；但し、大会の進行状況により、チーム対戦の勝敗が決定した時点で、大会競技委員長の権限により、そのチーム対戦の残りの試合を打ち切ることがある。また、天候不順、使用コート面数変更等の状況変化に対応し、試合方法を大会実行委員会の決定により変更することがある。【例：一部又は全部の試合を 1 セット（＝ 6 ゲーム）マッチへ変える 等】

1 対戦において、2 人までのシングルス・ダブルス重複出場は、可とする。但し、同一選手のダブルス 2 回以上又はシングルス 2 回の出場は認めない。オーダーは、実力順或いは登録順を問わない。

15. 試合時間：

第 1 日：午前 9 時 30 分試合開始、日没まで。 第 2 日：午前 9 時試合開始、日没まで。

但し、両日とも、日没後でも、未消化の試合があった場合、屋外照明コート又はインドアコートで実施することがある。大会の進行は、スケジュール表に基づいて行う。

集合は、15 分前。時間厳守のこと。雨天の場合、或いは大会進行の必要上、上記の試合開始時間を変更することがある。

16. オーダーの交換&取り扱い：

試合開始 5 分前に、同一オーダー表 3 通を審判委員長に提出し、“認”印を受け、1 通を本部が保管し、もう 1 通は試合開始時に対戦両チームのキャプテンによるオーダー発表・オーダー交換用に、残る 1 通は自チーム控えとする。但し、“認”印の無いものは、無効とする。オーダー発表・オーダー交換の時点で、オーダー表記載のメンバーが欠席の場合、そのメンバーのポイントは、自動的に負けポイントとする（スコアは、0－8）。但し、チーム対戦終了時におけるメンバーの欠席は、この限りではない。

オーダー交換以前に棄権することが確定している場合には、ダブルス No. 3、ダブルス No. 2 の順に DEF. とすること。その際、相手チームのオーダー提出前に、審判委員長に報告し、相手チームの了解を得ることとする。

試合スタート時点で、オーダー表と異なった選手及び順番は、認めない。

オーダーは、対戦ごとに変更することが出来る。又、雨天等により延期の場合には、オーダーを変更することが出来る。

非登録選手が出場した場合は、判明した時点で、その試合は、相手チームの勝ちとし、その試合のスコアは、0－8 とする。

各対戦において、3 試合を先勝したチームは、（前述の規定に拘わらず）相手の同意を得て、残りの試合の出場メンバーを変更（当初のオーダーに含まれていない選手との入れ替えを含む）することが出来る。但し、優勝決定戦においては、この変更は出来ない。また、優勝決定戦は、止むを得ない事情がある場合を除き、5 試合全てを実施する。

17. 審判：

対戦チーム同士が交互に主審・副審を出して審判することを原則とする。

人員不足の場合、審判委員長が、他の参加チームの選手又は連盟関係者に、主審・副審を依頼する。止むを得ずセルフジャッジとすることがある。

トラブルが発生した場合は、審判委員長が判定を下すこととする。

18. レフェリー：

ルール及び遅刻その他に対するペナルティーについては、レフェリーを任命し、委任する。

19. 試合前のウォーミング・アップ：

5 分以内とする〔チェアアンパイアが計時する＝原則；チェアアンパイアを置かない

場合、両チームの代表者（監督/主将又はその代理）が計時する〕。この規定の 5 分間が経過した時点から、大会運営委員長の権限において、「直ちに試合を開始するよう」命令することがある。この規定の 5 分間は、大会の進行状況により短縮することがある。

20. 試合時の障害 & ポイント

試合時のけいれん及びその他の障害についての休みは、10 分間 1 回とする。その時間以内に再起不能の場合は、“放棄ゲーム”とし、その試合は、0－8 で相手方の勝ちとする。

21. チーム対戦中の休憩時間：
チーム対戦において、第1／第2／第3試合に出場した選手が、次の試合（第4・第5にいずれか）に出場する場合は、先の試合の終了後、最大5分間の休憩時間を置くことが出来るものとする。これ以上の休憩時間は、原則として、認めない。
22. チーム対戦終了後の休憩時間：
チーム対戦が終了した時から次のラウンドのチーム対戦までの休憩時間は、原則として10分間とする。これ以上の休憩時間が必要と考えられる場合は、大会運営委員長が、両対戦チームの代表者と協議し、決定する。
23. コーチ：
ベンチコーチは、1名のみとする。
24. 応援：
応援は、テニスのマナーに則って行うこと。ベンチコーチの役割と混同しないこと。
25. 試合の服装：
白を基調としたものに限定する。シャツに関しては、えり付きのシャツのみ可。
試合時のTシャツは、認めない。参加チームの選手全員が、そのチームのユニフォームを着用することが望ましい。
26. 順位の決定：
トーナメントにより、優勝・準優勝を決定する。第3位以下は、順位決定戦により、決定する。（天候不順、使用コート変更などの状況変化に対応し、順位決定戦を中止或いは中途打ち切りとすることがある。）
下位の順位決定戦において（総当たり）リーグ戦を実施した場合は、次の順序で順位を決定する：
①チーム対戦の勝ち数の多い方が上位
②勝ち試合数の多い方が上位
③勝ち負けゲーム総数合計に占める勝ちゲーム数合計の割合が高い方が上位
④直接対戦で勝った方が上位
27. チーム対戦結果の報告：
チーム対戦終了後、両チームの監督は、対戦結果を対戦結果表に記入し、確認署名し、勝ちチームの監督が、大会本部へ提出報告すること。
28. 雨天の場合：
会場の変更、試合のスケジュールの変更等は、試合会場において決定する。当日の試合開始予定時刻以前に変更を決定した場合は、大会本部から各参加チームへ連絡する。会場へ移動中の参加チームは、変更が予想される天候の場合、大会本部へ電話にて問い合わせること。
29. 大会の準備及び運営：
各参加チームから代表を1名ずつ出し、運営委員会を構成し、必要事項について協議し、決定する。運営委員会には、委員長1、副委員長2、競技委員2、審判委員2、記録委員2、会計委員2を置く。大会は、運営委員会が運営する。
30. その他：
その他、この大会実施要項に記載されていない事項については、前項規定による。
31. 連盟企画の国際交流テニス大会参加チームの選考対象：
本大会終了後、連盟が「国際交流テニス大会」を企画した場合、これに参加する「日本代表チーム」の第一候補として、本大会優勝チームを選考対象とする。準優勝チーム以下を順次選考対象とする。

以上